

山本英男先生の略歴および業績

学 歴

昭和29年4月	東京理科大学 I 部理学部数学科入学
昭和33年3月	東京理科大学 I 部理学部数学科卒業
昭和33年4月	東京理科大学大学院理学研究科数学専攻修士課程入学
昭和35年3月	東京理科大学大学院理学研究科数学専攻修士課程修了
昭和37年4月	東京理科大学大学院理学研究科数学専攻博士課程入学
昭和40年3月	東京理科大学大学院理学研究科数学専攻博士課程単位取得 退学

職 歴

昭和35年4月	日本精工株式会社入社
昭和39年12月	日本精工株式会社退職
昭和39年12月	株式会社日立製作所入社
昭和59年3月	株式会社日立製作所退職
昭和59年4月1日	千葉商科大学商経学部助教授
昭和61年4月1日	千葉商科大学商経学部教授
平成16年3月31日	千葉商科大学定年退職
平成16年4月1日	千葉商科大学商経学部非常勤講師

委員歴

平成3年11月6日	千葉県統計相談員（千葉県知事）
平成4年6月8日	統計情報提供システム等検討委員（千葉県知事）

山本英男先生業績目録

1. 著書

昭和45年 9月30日	計量経済の手法とプログラム (共著)	産業図書
昭和46年 5月30日	FORTRAN による数値計算ハンドブック (共著)	オーム社
平成 2年 9月 1日	数値計算ハンドブック (共著)	オーム社

2. 学術論文

昭和40年 3月	防衛基礎研究としての募集可能数の予測モデルに関する基礎研究 (I)	防衛庁
昭和41年 3月	防衛基礎研究としての募集可能数の予測モデルに関する基礎研究 (II)	防衛庁
昭和41年 3月	将来人口推定	千葉県
昭和41年 3月	輸送需要の輸送機関別配分	建設省
昭和42年 3月	防衛基礎研究としての募集可能数の予測モデルに関する基礎研究 (III)	防衛庁
昭和42年10月23日	起終点調査に関する標本調査法	日本統計学会
昭和43年 9月 6日	2段階・3段階最小2乗法に関する一考察	日本統計学会
昭和44年 5月	計量経済学における各種推定法の比較	HITAC ユーザ研究会
昭和45年 5月	計量経済学における各種推定法の比較(続)	HITAC ユーザ研究会
昭和48年 3月	工業用 LPG の需要予測	日本 LP ガス協会
昭和49年 3月	東京都歳入予測	東京都
昭和49年 4月	Probit Model 分析とその応用	計量経済学研究会
昭和50年 3月	肥料の需要予測	農林省
昭和50年 3月	県勢長期展望に関する調査	栃木県
昭和51年 3月	南那須水辺レジャー基地建設調査	栃木県八溝開発公社
昭和57年 7月23日	Probit Analysis tolerance 分布が多変	日本統計学会

量正規分布の場合への拡張

昭和59年 9 月30日	仮平均法による高次モーメントと自己共分散関数の計算	千葉商科大学 国府台学会
昭和60年 6 月30日	多重分類の線形ロジットモデルの推定	千葉商科大学 国府台学会
昭和62年 6 月30日	多重分類のプロビット分析	千葉商科大学 国府台学会
平成 9 年12月30日	高次モーメントの不偏推定量	千葉商科大学 国府台学会

3. 学会発表

昭和42年10月23日	起終点調査に関する標本調査法	日本統計学会
昭和43年 9 月 6 日	2 段階・3 段階最小 2 乗法に関する一考察	日本統計学会
昭和57年 7 月23日	Probit Analysis tolerance 分布が多変量正規分布の場合への拡張	日本統計学会